

令和2年度

長浜北星高等学校（定時制） 学校評価

本年度の重点目標

- ・生徒の能力の更なる向上を図るため、指導方法の工夫と改善を行う。
- ・生徒一人ひとりが生き生きとした、活力ある学校づくりに努める。
- ・生徒の能力・適性を見極め、進路希望の実現に向けた指導を行う。
- ・対外的な情報発信力を向上させるとともに、家庭との連携を強化する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	教職員間の相互理解と協力関係に基づく教育活動を行っている。	A	B	A
	教職員間で日常的に教育課題について話し合っている。	A	B	A
2 学習指導	生徒の学習意欲を喚起する適切な評価を行っている。	A	B	A
	わかる授業を目指し、授業の方法などについて工夫・改善に努めている。	A	A	A
3 生徒指導	生徒の問題行動を防止する早期指導に取り組んでいる。	A	B	A
	生活指導上の問題について家庭との密接な連携を取っている。	A	B	A
	防災避難訓練をはじめ生徒の命と安全を守るよう指導している。	A	B	A
	いじめ問題の防止および早期発見・早期対応につとめている。	A	B	A
4 進路指導	生徒の進路希望実現に向けて指導を行っている。	A	B	A
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	A	B	A
5 特別活動等	学校行事や生徒会活動を積極的に行っている。	A	A	A
	学校行事を生徒にとって魅力あるものとするため、教職員間の意思疎通を図っている。	A	B	A
6 学校図書館	生徒が読書に親しめるよう努めている。	B	C	B
	カウンセリングマインドを持って、生徒に寄り添った指導をしている。	B	B	B
7 保健・安全指導	生徒が健康を自己管理できるよう指導している。	B	A	A
	明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	B	B	A
8 人権教育	人権統一LHRや共同鑑賞等により人権意識を高める指導を行っている。	B	B	A
	光熱水費等の節減に日頃から配慮している。	A	B	B
9 環境教育	ごみの減量化と分別収集の徹底を図っている。	A	B	B
	学校の施設・設備を、公共心にもとづき、適正に使用している。	A	A	A
10 事務・管理	文書管理を適切に行っている。	A	A	A
	社会規範や市民道徳を守るよう、生徒を指導している。	A	B	A
11 その他 学校の取り組み	保護者との連携を密にすることで、信頼関係を築くように努めている。	A	A	A

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。